

第2回病院連絡会結果の概要（堺市二次医療圏）①

1 第2回病院連絡会の参加状況と病院プラン2019年度更新版の提出状況

保健所名	公立・ 公的・ 民間等	対象※病院数 (A)	出席病院数 (B)	参加率 (B)/(A)	病院プラン提出 病院数 (C)	提出率 (C)/(A)	病院プラン調査更新版未定出病院 (第2回病院連絡会開催時点)
堺市	公立	1	1	100.0%	1	100.0%	
	公的	5	5	100.0%	5	100.0%	
	民間等	32	24	75.0%	28	87.5%	・堺市立重症心身障害者（児）支援センター ・医療法人淳康会 堺近森病院、医療法人大泉会 大仙病院、堺平成病院（調査対象期間後に開設（2019年4月1日）されたため。ただし、2019年4月1日現在の2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無及び非稼働病床数について報告あり。）
	合計	38	30	78.9%	34	89.5%	

※：病院連絡会の対象は、病床機能報告対象病院

2 今後の医療提供体制のあり方に対する意見

- ・高度急性期と急性期の分類が不明確である。
- ・2023年に開設予定である近畿大学病院も含めて協議を行うべきではないか。
- ・医療提供体制を考えていく上で、現場で深刻な問題なのは医療従事者や介護従事者などの人材不足である。行政は危機感を持ってほしい。

第2回病院連絡会結果の概要（堺市二次医療圏）②

3 今後の医療提供体制のあり方についての確認事項

<p>【病床機能】</p> <p>・不足する医療機能（主として回復期）への転換の検討を第一とする。</p> <p>【診療機能】</p> <p>①周産期医療分野の集約化の検討、②小児医療分野の集約化の検討</p>

4 公立病院・公的病院・2025年に向けて病床機能転換の予定のある民間等病院・病床機能についての報告がない民間等病院の一覧

区分	保健所	市町村	医療機関名	診療機能 【公立・公的病院】救急医療・小児・周産期					病床機能																						機能変更 (予定) 時期	【プラン・連絡会での病院の説明】 具体的な内容	過剰となる病床機能への 転換に対する 大阪府の基本的考え									
				圏域占有率※（％）					今後の方向性 プラン・連絡会にて 【具体的な方向性の説明があった場合】						現状の機能別病床数 (2018年7月1日現在)							転換病床数（2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無）																				
				【救急】 救急車 搬送件 数	【周産 期】 分娩 回数	【周産 期】 ハイリ スク分 娩加 算	【周産 期】 NICU等 算定回 数	【小 児】 入院 医療 管理 料	<凡例> 機能拡大 機能縮小 機能廃止 他病院との再編	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働 (休床 中)	合計 病床数	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	廃止	介護 医療 院	介護 老人 保健 施設	介護 施設・ 福祉 施設	第2回病院 連絡会以後 の転換予定 の有無																
1 公立	堺市保	堺市	堺市立総合医療センター	19%	7.9%	12.3%	—	42.9%	—	480	275	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		救急医療・小児・災害医療など、民間等病院が担っていく部分を担っていく。	
2 公的1	堺市保	堺市	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター	0.9%	—	—	—	—	—	325	0	286	0	0	39	▲15	0	▲15	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2020年度中	引き続き、呼吸器系疾患へ対応していく。非稼働病床39床は、再稼働させるためのコストを考慮すると採算が合わない可能性があることから減少申請を行う予定。			
2 公的1	堺市保	堺市	独立行政法人労働者 健康安全機構 大阪労災病院	7.8%	3%	13.8%	—	14.6%	救急：機能拡大	678	403	275	0	0	0	0	16	▲16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2021年度	病院の増改築に伴い、急性期一般入院料1（急性期）250床のうち16床を、特定集中治療室管理料3（高度急性期）へ6床（ICU）、ハイケアユニット入院医療管理料1（高度急性期）へ10床（CCU2床、HCU8床）転換予定。	過剰な病床への転換は、望ましくない。		
3 公的2	堺市保	堺市	社会医療法人ベガサ 馬場記念病院	12.9%	—	—	—	—	—	300	136	112	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		引き続き、救急医療へ対応していく。				
3 公的2	堺市保	堺市	耳原総合病院	11.7%	12.9%	30.8%	—	19%	—	386	8	328	50	0	0	0	9	▲9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2019年10月～12月	救急医療をはじめ、周産期、小児など24時間対応可能な体制を維持に努める。9床の急性期一般入院料1（急性期）をハイケアユニット入院医療管理料1（高度急性期）へ転換済み。	過剰な病床への転換は、望ましくない。		
3 公的2	堺市保	堺市	ヘルランド総合病院	14.3%	24.1%	43.1%	100%	23.5%	—	477	258	219	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		引き続き、周産期（MFICU、NICU）へ対応していく。				
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人啓二会 堺咲花病院							310	0	180	0	0	130	130	0	▲80	150	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2020年4月以降	非稼働病床130床と急性期一般入院料7（急性期）80床を、地域包括ケア病棟入院料2（回復期）へ100床、回復期リハビリテーション病棟入院料1（回復期）へ50床、療養病棟入院料2（慢性期）へ60床を転換予定。	過剰な病床への転換は、望ましくない。			
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人杏林会 金岡病院							170	0	0	0	170	0	▲15	0	0	0	▲15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年10月～2020年1月	療養病棟入院料1（慢性期）15床を減少予定。				
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人若葉会 堺若葉会病院							180	0	60	0	120	0	0	0	▲10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年12月～2020年4月	2020年までに、急性期一般入院料5（急性期）の10床を、地域包括ケア入院医療管理料3（回復期）へ転換を予定。				
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人以和貴会 北条病院							237	0	0	0	237	0	▲48	0	0	0	▲48	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	—	療養病棟入院料1（慢性期）48床を会議医療院48床へ転換予定。				
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人藤田好生会 堺フジタ病院							87	0	0	0	87	0	0	0	12	16	▲28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2020年8月頃	一般病棟特別入院基本料（慢性期）28床を地域一般入院料3（急性期）12床、地域包括ケア病棟入院料3（回復期）16床へと転換予定。	過剰な病床への転換は、望ましくない。				
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人暁美会 田中病院							120	0	36	40	104	0	0	0	4	0	▲4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	2019年11月	障害者施設等13対1入院基本料（慢性期）4床を地域一般入院料（急性期）へ転換予定。	過剰な病床への転換は、望ましくない。				
4 民間等	堺市保	堺市	堺市立重症心身障害者（児）支援センター							60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—			
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人淳康会 堺近森病院							60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—			
4 民間等	堺市保	堺市	医療法人大泉会 大仙病院							30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—			

※圏域内に所在する医療機関の診療実績の合計に占める、当該医療機関の診療実績の割合。